

公表

事業所における自己評価結果 児童発達支援

事業所名		サポートハウスミライエ	公表日		令和 7年 3月 11日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	来所時間に合わせて活動を設定している
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	シフト調整、役割を行っている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・視覚的なカード、表示等をしている。 ・バリアフリー化はされていない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・持ち物を置く場所を定位置にし、活動、人数に合わせて場所や環境を設定している ・運動するための広いスペースがあるとなお良い
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	各部屋をその時に応じて設定できるよう物を極力置かないようにしている
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	・ケース会議を開き、利用者の状況、目標を確認。必要に応じて全体の会議でも定義し意見を交わしている ・管理者のみの参画となっている。スタッフ全体で確認、周知する時間は必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	年1回保護者アンケートを行っている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	その都度、意見を聞き対応している。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	・今のところ会社のみ意見、評価で改善に努めているが、今後第三者の意見を聞く機会を設けてもいいのではと思う ・第三者評価がされているか分からない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	講師を招いて勉強会を開催している。また職務に応じて外部の研修を受けている
	11	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	家族支援、モニタリング、必要に応じて関係機関連携を行っている
	12	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	ケース会議を開き支援者からも共有、個別支援計画原案会議を経て支援計画を作成している
	13	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	支援計画を回覧し各自把握、理解をし支援に臨んでいる
	14	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	それぞれの項目に目標を設定して支援を行っている

	15	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	その日に利用する児童の目標に合わせて、また集団での目標も設定しながら活動プログラムを立案している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・直接に関わっている様子、俯瞰しての様子などの意見を交わし次の支援に繋げている ・必ずではない。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	支援後に記録をとり、児発管が確認し保護者に公開している。
関係機関や保護者との連携	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	相談事業所、各幼稚園、保護者、支援員、児発管が必要に応じて集まり会議を開催している
	19	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	個別支援計画にも記載し共有を図る機会を設けている
	20	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・来所時に声をかけ、その時の様子などをお聞きしている。必要に応じて家族支援を行う機会も設けている ・理解、認識のズレは生じることが考えられるため、適宜確認は必要
	21	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・新年度から行う予定 ・保護者相談会を実施しています。
	22	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	モニタリングを行い家庭の様子、保護者の思いなどをお聞きして支援計画に反映している
	23	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	期間内に行っている
	24	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	家族支援を設け行っている
	25	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	保育所等訪問と連携し、必要に応じて同行して伺っている
	26	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	情報の書類、PCなど必ずカギをかけて保管。個人情報社外での場ではもらさないことを職員間で徹底している
	27	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	視覚的な方法で、簡潔に伝えている
非常時等の対応	28	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	・毎月の避難訓練などで確認し訓練を行い、訓練の開催、開催後には保護者へ掲示をして周知している ・家族に周知されているか分からない
	29	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	月1回避難訓練を行っている
	30	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3	・食事提供をしていない ・食事提供はしていない。おやつを与える際には事前に保護者に確認をしている
	31	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	事案が発生した場合は速やかに報告をし会議を開催している
	32	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止研修内容の周知、防犯カメラにて確認をし、不適切な行動があった際には聞き取りを対応している
	33	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	支援計画に記載している